

お天気アプリ 操作手順書

1. アプリの概要

お天気アプリは、指定した都市の天気情報を取得し、気温、天候、傘の必要性などを表示するシンプルなアプリです。

2. 操作手順

手順 1: アプリを起動する

- VSCode を開きます。
- プロジェクトフォルダ内の `index.html` ファイルを見つけます。
- `index.html` ファイルを右クリックし、「Open with Live Server」を選択します。
- デフォルトのブラウザが起動し、アプリのメイン画面が表示されます。

手順 2: 都市名を入力

- 入力欄に、天気情報を知りたい都市名を入力します。
 - 入力例:
 - 英語またはローマ字: Tokyo, Fukuoka, New York など
 - 漢字: 大阪市, 福岡市 など
- 注意:
 - 都市名を **市まで正確に入力** する必要があります（例: 大阪市, 福岡市）。
 - 都道府県名のみ（例: 大阪, 福岡）や、詳細な地名（例: 福岡市早良区）を入力した場合はエラーとなります。
 - 都市名が空欄の場合は、アラートでエラーメッセージが表示されます。

手順 3: 天気を表示する

- 入力後、「天気を表示」ボタンをクリックします。
- 次の情報が画面に表示されます:
 - 気温
 - 天候（例: 晴れ、雨、曇りなど）
 - 傘の必要性（「傘が必要です」または「傘は不要です」）

手順 4: エラーメッセージの確認

- 入力ミスや不正な都市名を入力した場合、ボタンの下にエラーメッセージが表示されます:
 - 例: 「エラー: city not found」
- エラー例と対策:
 - 原因: 入力が不正（例: InvalidCity や 福岡市早良区）。
 - 対策: 正しい都市名（例: 福岡市）を再入力し、「天気を表示」ボタンを再クリックします。

手順 5: 天気情報を確認

1. 必要に応じて別の都市名を入力し、再度「天気を表示」ボタンをクリックします。
 2. 他の都市の天気情報を表示できます。
-

手順 6: アプリを終了する

1. 天気情報の確認が終了したら、ブラウザを閉じてアプリを終了します。
 2. **VSCode** を閉じて作業を完了します。
-

3. 注意事項

- 都市名は以下のルールに従って入力してください:
 - 許可される入力例:
 - 英語またはローマ字 (例: **Osaka**, **Fukuoka**)
 - 漢字で「市」まで正確に入力 (例: **大阪市**, **福岡市**)
 - エラーとなる入力例:
 - 県名のみ (例: **大阪**, **福岡**)
 - 詳細な地名 (例: **福岡市早良区**)
 - 天気情報はリアルタイムのAPIを使用しています。一時的な通信エラーの場合は、数分後に再試行してください。
 - レスポンシブデザイン未対応のため、画面サイズの変更によるレイアウト崩れが発生する可能性があります。
-

4. トラブルシューティング

- 都市名を入力してもエラーが表示される:
 - 入力が正しいか再確認してください (例: **福岡市**)。
 - ネットワーク接続を確認してください。
- アプリが起動しない:
 - VSCodeでLive Server拡張機能がインストールされていることを確認してください。
 - プロジェクトのディレクトリに **index.html** が存在することを確認してください。